

歴史Ⅱ (HistoryⅡ)	3年・通年・2単位・必修 機械工学科・担当 上島 智史	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (1)		
<p>〔教育方法等〕</p> <p>概要： グローバル化が浸透する現代世界において、地域独自の文化・社会への理解が求められている。文化・社会は、その地域で生きた人間の営みの積み重ねであり、私たちの日常生活の一部として今も生きて続けている。本講義では、世界の歴史を学ぶことを通して、現代社会の成り立ちを理解し、未来を展望することを目的とする。</p> <p>授業の進め方と授業内容・方法： 歴史の学習において重要なことは、なぜそのでき事が起きたのかを歴史的背景を踏まえて考察することである。そのため、各地域の政治、文化、社会、宗教を踏まえるだけでなく、その周辺地域の影響も意識しなければならない。本講義では、現代世界に強い影響を与えているヨーロッパ諸国の歴史を中心に概観しつつ、地域性が形成されていく過程を探っていく。</p> <p>注意点： 関連科目 地理・歴史Ⅰ・政治経済 学習指針 海外について学習していくため、その位置を把握することが重要である。地理で使用した地図帳を参照することが重要である。 自己学習 到達目標を達成するためには、授業以外にも教科書を読むなど、授業内容についての理解を深める必要がある。特に、授業後の復習を欠かさないようにすること。</p>		
<p>〔教科書〕 「高校世界史B」山川出版社</p> <p>〔補助教材・参考書〕 「明解世界史図説 エスカリエ 九訂版」帝国書院 配布プリント</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代世界の諸課題について、歴史的背景を踏まえて理解し、持続可能な世界の構築に向けての方向性を考察することができる。 2. 人々の痕跡が世界遺産等として残されていることを理解し、自国理解と国際協調の重要性を理解することができる。 3. 当時の人々がどのように考え、行動してきたのかを史料や統計等から読み取り、現代とは異なる視点から見るができる。 4. 異なる地域世界の接触と交流によって地域社会が形成したことを理解し、多面的な視点から諸地域を見ることができる。 		
<p>〔評価割合〕</p> <p>定期試験（前期中間・前期末・後期中間・学年末）…60%</p> <p>授業への取り組み（提出物の完成度、グループ学習等での発言回数や内容）…25%</p> <p>課題レポート…15%</p>		

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
前期	1 週	ガイダンス	世界史を学ぶ意義を理解できる。	
	2 週	オリエントと地中海世界	古代オリエント世界の形成について理解できる。	
	3 週		古代ギリシャ世界と文化の伝播について理解できる。	
	4 週		都市国家ローマと共和政の成立過程を理解できる。	
	5 週		大帝国へと発展した古代ローマの特質を理解できる。	
	6 週	中国の古典文明	中国の古代文明について、その特徴を理解できる。	
	7 週		秦・漢王朝の成立、皇帝について理解できる。	
	8 週	中国の分裂	三国時代にみる中国の地勢を説明できる。	
	9 週		隋・唐の成立と日本との結びつきについて理解できる。	
	10 週		唐・宋における制度・文化について理解できる。	
	11 週	中世ヨーロッパ世界	ゲルマン人の大移動とその影響について説明できる。	
	12 週		十字軍の意義について、説明できる。	
	13 週		封建社会の成立と百年戦争について、理解できる。	
	14 週	空前の大帝国	モンゴル帝国の成立が世界に与えた影響を説明できる。	
	15 週	アジア諸地域の繁栄	明朝の成立とその意義について、説明できる。	
	16 週	試験返却・解答	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消できる。	
後期	1 週	アジア諸地域の繁栄	清朝の成立と西洋諸国との関係について説明できる。	
	2 週	近世ヨーロッパ世界	大航海時代の幕開けとルネサンスについて説明できる。	
	3 週		宗教改革と主権国家体制の成立とその特徴を説明できる。	
	4 週		イギリス革命の意義について、説明できる。	
	5 週		ユグノー戦争と三十年戦争について、理解できる。	
	6 週	近代ヨーロッパとアメリカ世界	産業革命とアメリカ独立戦争について、説明できる。	
	7 週		フランス革命とその後の影響について、説明できる。	
	8 週		ナポレオンの登場とウィーン体制について、理解できる。	
	9 週		アメリカ南北戦争の勃発とその背景を説明できる。	
	10 週		帝国主義と世界分割について、理解できる。	
	11 週	2つの世界大戦	第一次世界大戦の勃発とその背景を理解できる。	
	12 週		第一次世界大戦におけるプロパガンダの影響を説明できる。	
	13 週		ヴェルサイユ体制と世界恐慌について理解できる。	
	14 週		第二次世界大戦の勃発と各国の動向を理解できる。	
	15 週		第二次世界大戦における民族と科学者の動向を理解できる。	
	16 週	試験返却・解答	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消できる。	

* 4 : 完全に達成した, 3 : ほぼ達成した, 2 : やや達成できた, 1 : ほとんど達成できなかった, 0 : まったく達成できなかった。